

## 小諸市自治基本条例に関するアンケートの結果について

### 1. 調査概要

#### 1.1. 実施方法 令和3年度こもろ・まちづくり市民意識調査の対象者に実施

- 調査対象：16歳以上の小諸市民2,000人
- 抽出方法：令和3年11月22日現在の住民基本台帳から、性別及び年代別の構成比による無作為抽出
- 調査方法：郵送による調査票の発送、同封の返信用封筒での返信による回収
- 調査実施期間：令和3年12月6日（月）～12月27日（月）

#### 1.2. 回収結果

- 調査票配布数：2,000部
- 調査票回収数：621部
- 調査票回収率：31.1%
- 回答者の属性

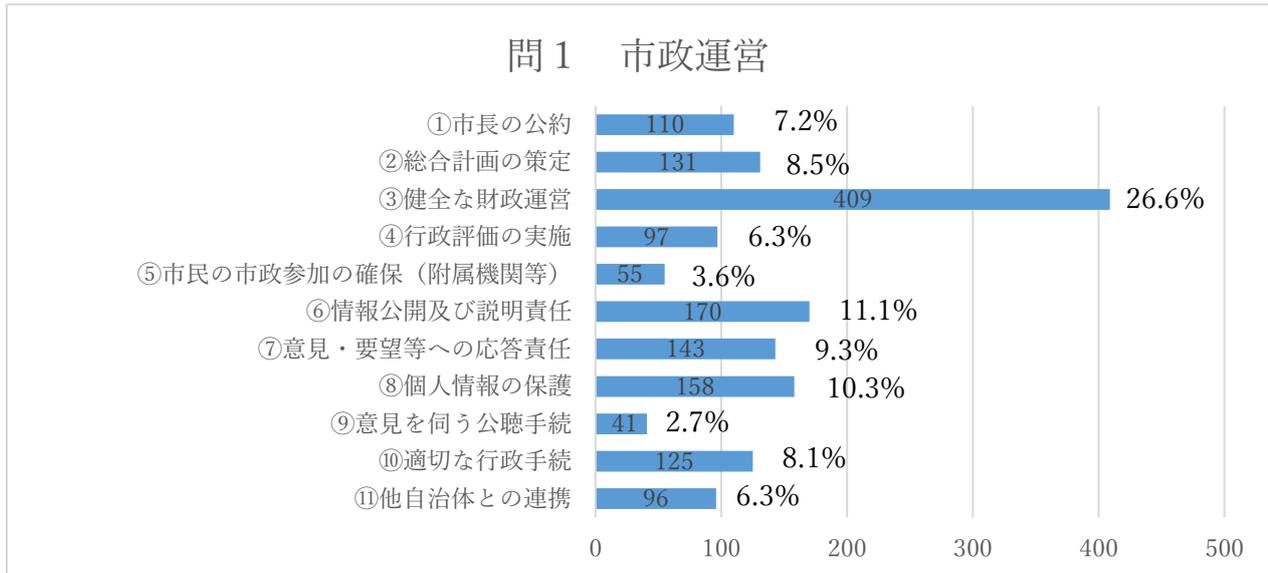
#### 1.3. アンケートの内容

- 市民に小諸市自治基本条例が認知されその理念が浸透しているか、市民参加や協働によるまちづくりへの意識が根付いているのかを探る。

## 2. アンケートの質問項目と結果

問1 小諸市自治基本条例では市政運営のルールについて規定しています。特に重要だと思うもの3つに○をつけてください。

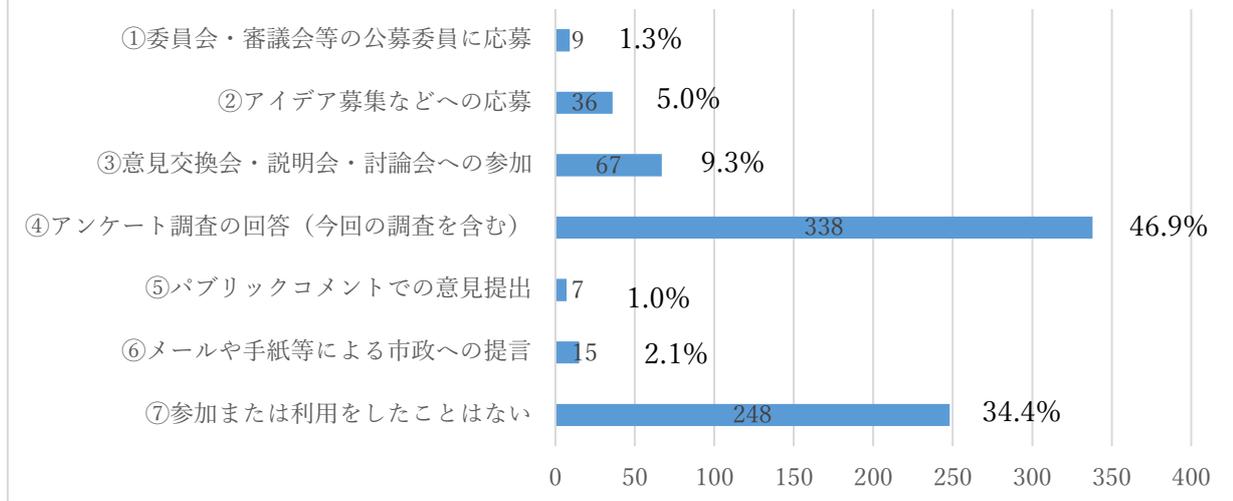
問1は市政を運営していくために掲げているルールについて何が重要かを問いました。上位3項目は「健全な財政運営」26.6%と最も多く、次いで「情報公開及び説明責任」11.1%、「個人情報の保護」10.3%との回答から、市政に対する透明性、信頼性が求められている結果となりました。



問2 小諸市自治基本条例では、市が行う施策に対して、より多くの市民の皆さんの意見を反映させるために、市政への市民参加について規定しています。あなたは、今までに、次の市民参加手続き等により市政への参加または手続きを利用したことはありますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

問2は市が行う施策について市民参加をしたことがあるかについて問いました。「アンケート調査の回答(今回の調査を含む)」46.9%と約半数を占めました。一方で「参加または利用をしたことはない」34.4%、「パブリックコメントでの意見提出」1.0%、「委員会・審議会等の公募委員に応募」1.3%の結果から、平成30年に作成した「市民参加手続きガイドライン」に沿って、市職員が手続きを踏んでいるのか、意見集約の為に参加しやすい状況を設定しているかなどの取り組みが課題となります。

## 問2 市政への市民参加手続き等の利用状況

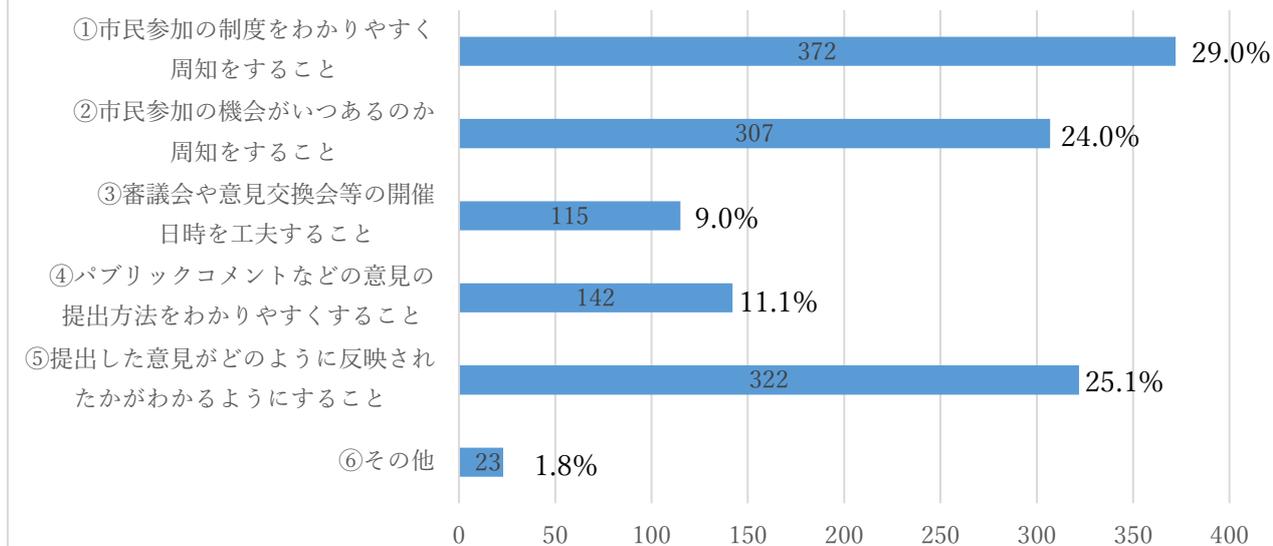


問3 市民の皆さんが、市民参加手続きをしやすくするために、市はどのような取組をする必要があると思いますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

問3は市として市民参加手続きの促進方法を捉えるために問いました。市に対して、わかりやすい説明と周知、意見が反映されているかなど透明性が求められていることが伺えます。

また、その他意見には、利便性やより多くの市民参加が促進される方法として「インターネットを活用したアンケート」の声を複数いただきました。

## 問3 市民参加手続等の促進方法



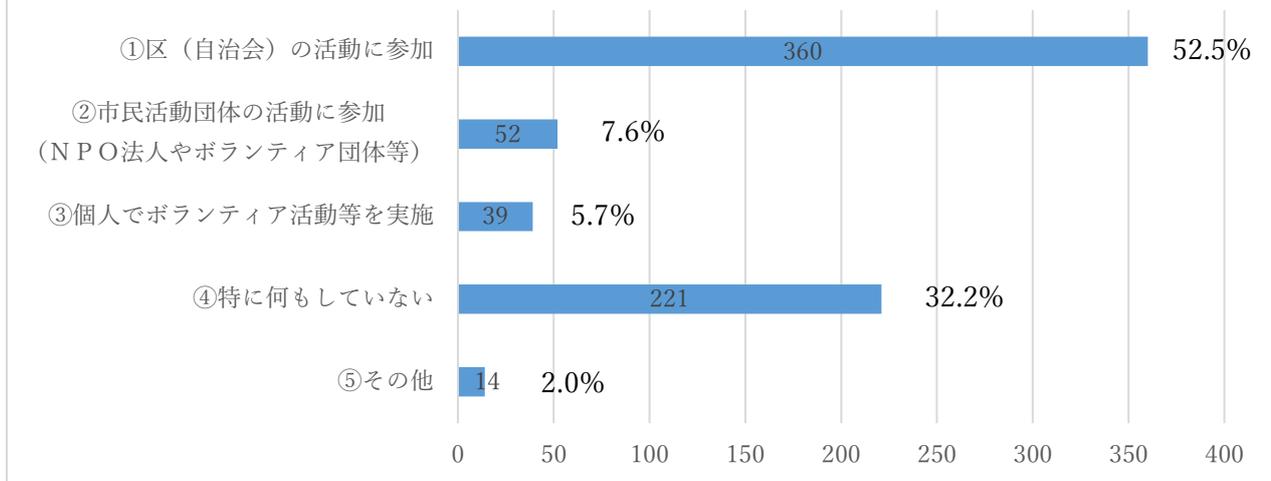
◎その他意見

- ・結論ありきではなきこと
- ・幅広い市民が参加する状況となっていない気がします。
- ・内容について難しい言い回しをせず、広く人に理解できる方が興味が湧き参加しやすくなると思います。
- ・意見を伝えやすい対応。
- ・例を上げて身近な事でも！と周知してください。
- ・今回の様なアンケートは重要なことと思います。
- ・インターネットで意見が出せる。
- ・このアンケートもネットを活用しても良いのでは？
- ・市民が参加型の楽しいイベントを多く企画してください。
- ・何かのイベントに合わせて実施するなどの工夫が必要
- ・デジタル化、個人情報保護、インセンティブ
- ・オンライン
- ・コミュニティTVを利用する。
- ・市民参加制度と言う言葉自体に抵抗感がある。逆に民間主体で行政側が参加し考え方を学ぶ方法を検討したらどうかとを感じる。各業種別にリーダーを決め商工会や青年会などを含め広げていければと思う。
- ・審議会や意見交換会等の報告。
- ・SNSでの周知を試みるのも良いかもしれません。
- ・上記の周知方法や工夫にはHPやSNSを活用して頂きたい。
- ・オンラインの活用、平日夜開催。
- ・アンケート結果の集計、少数意見の尊重（重要度重視）。

問4 小諸市自治基本条例では、自治の基本理念の一つとして「協働のまちづくり」「市民協働」を掲げています。あなたは過去3年以内に市民協働に関する活動をしましたか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

問4は過去3年間に公共の利益のために活動を行ったかについて問いました。「区（自治会）の活動に参加」52.5%と半数以上を占め、「市民活動団体の活動に参加」7.6%「個人でボランティア活動等を実施」5.7%と6割強が何らかの活動を行った結果になりました。一方で「特に何もしていない」が32.2%という結果から、新型コロナウイルス感染症が影響している時期と重なることも要因と捉えられます。

## 問4 市民協働に関する活動状況



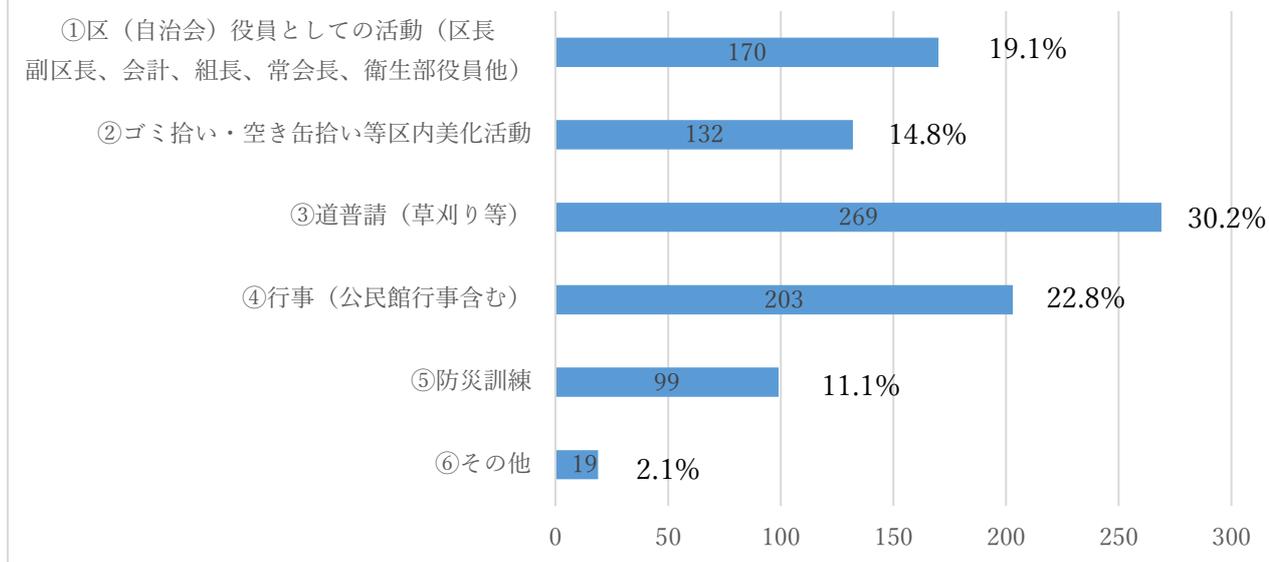
### ◎その他意見

- ・議会と語る会への参加。
- ・県道・市道の草刈りをしている。
- ・市の公民館活動。
- ・この3年、コロナ禍でほぼ皆無。
- ・部活動でのボランティア活動に参加。
- ・子ども育成の為に発起人となり活動している。
- ・その機会があることを知らない。
- ・市外郭団体、個人での金銭寄附。

問5 問4で①と回答した方におたずねします。あなたは区（自治会）でどのような活動をしていますか。又は参加していますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

問5は問4の「区の活動に参加」と回答した方へ区での具体的な活動内容について問いました。「区役員としての活動」19.1%と約2割の方が区役員と回答されました。複数回答を求めた問でしたが、区内の美化活動・道普請、公民館等行事等各1割強～3割との結果から、この問いについても新型コロナウイルス感染拡大防止による活動制限による結果であると考えられます。その他意見からは地域の安全や環境等に関わる活動傾向が見えました。

## 問5 区における活動・参加内容



### ◎その他意見

- ・ 育成会活動の参加
- ・ 高齢者宅のゴミ出し
- ・ 安協
- ・ 学校 PTA 育成会として区の行事に参加
- ・ 区民総会
- ・ 消防団
- ・ 通学路の雪かき
- ・ 側溝清掃
- ・ 自治会の草刈の時期が来ると前もって回りの草刈りをしている。
- ・ 育成会の行事
- ・ 現在はコロナで中止！
- ・ 落葉集め処理、木の処理
- ・ 消防団として区の行事に参加
- ・ 区で行っているサークル（フラダンス）
- ・ 健康達人にボランティアとして参加
- ・ 近隣地域での美化
- ・ 野良猫の T N R 活動（小諸市の）

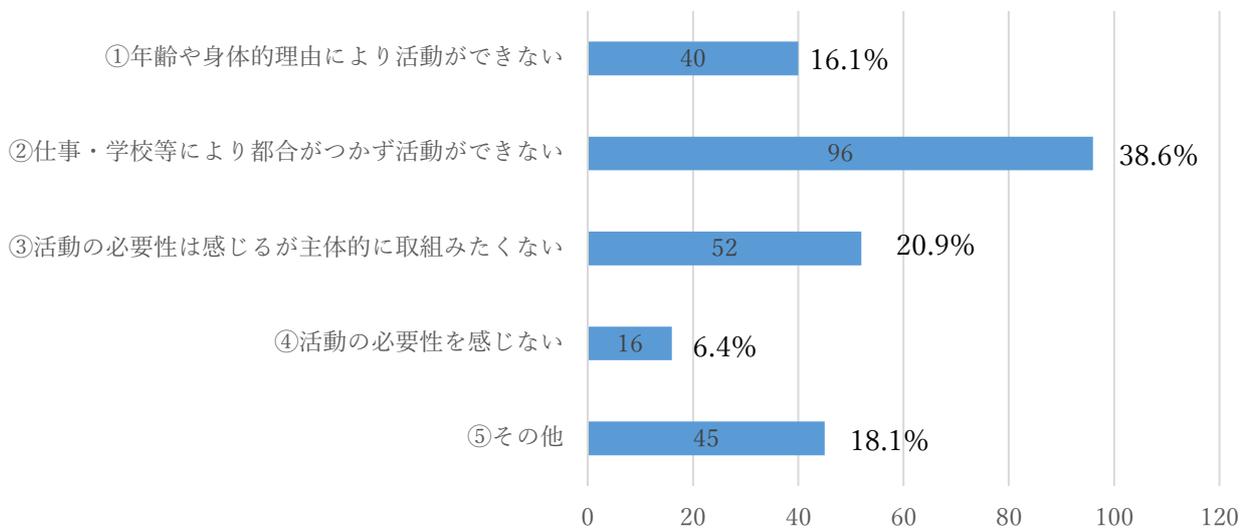
問6 問4で④と回答した方におたずねします。市民協働に関する活動について「特に何もしていない」理由は何ですか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

問6は問4で「特に何もしていない」と回答した方へその理由をについて問いました。

年齢や身体的な理由、仕事や学校等の理由により活動ができないとの回答が5割強の結果になりました。

また、その他の意見（下記）として「いつ、どこで、どんな活動があるのかを知らない」「活動の方法が分からない」など、「市民協働」について丁寧な説明と情報発信を求める声が寄せられました。

## 問6 市民協働に関する活動に参加等できない理由



### ◎その他意見

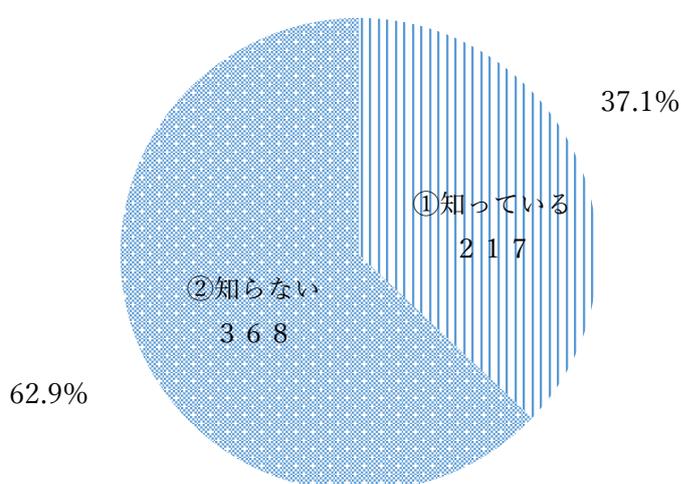
- ・そのような活動を知らなかったから。
- ・どのような事をすれば活動できるのか最初のところがわからない。
- ・どんな取り組みをしているかわからないから。
- ・情報が届かない。
- ・具体的な活動内容や時期、場所、自治会の活動の場合はやり方も分からない。
  
- ・日時が合わない。
- ・学生なので、部活や勉強が忙しいから。
- ・勉強の方が大切
- ・仕事で忙しい。
- ・自営の為、時間的余裕がない。
- ・個人的に介護に近い状態にあり、なかなか参加できない。
- ・身体的に不自由があって活動できない。
- ・小さい子供がいるため。

- ・引越して間もないため。
- ・家族が参加
- ・興味はない。
- ・仕事をしている時、空いた時間は体を休めたい。

問7 あなたは「ぼらせんこもろ」（小諸市市民活動・ボランティアサポートセンター）を知っていますか。

問7は「ぼらせんこもろ」の認知度について問いました。市民活動団体等の拠点として小諸市ボランティアセンターが平成15年6月に設置され、その後平成27年4月現在の名称に変更。愛称「ぼらせんこもろ」は市民公募により決定しています。当初の設置から19年目を迎えようとしています。約6割が「知らない」と回答しました。令和3年度から複合施設「こもテラス」へ移転しているため、認知度の向上のため情報発信等の工夫が課題となります。

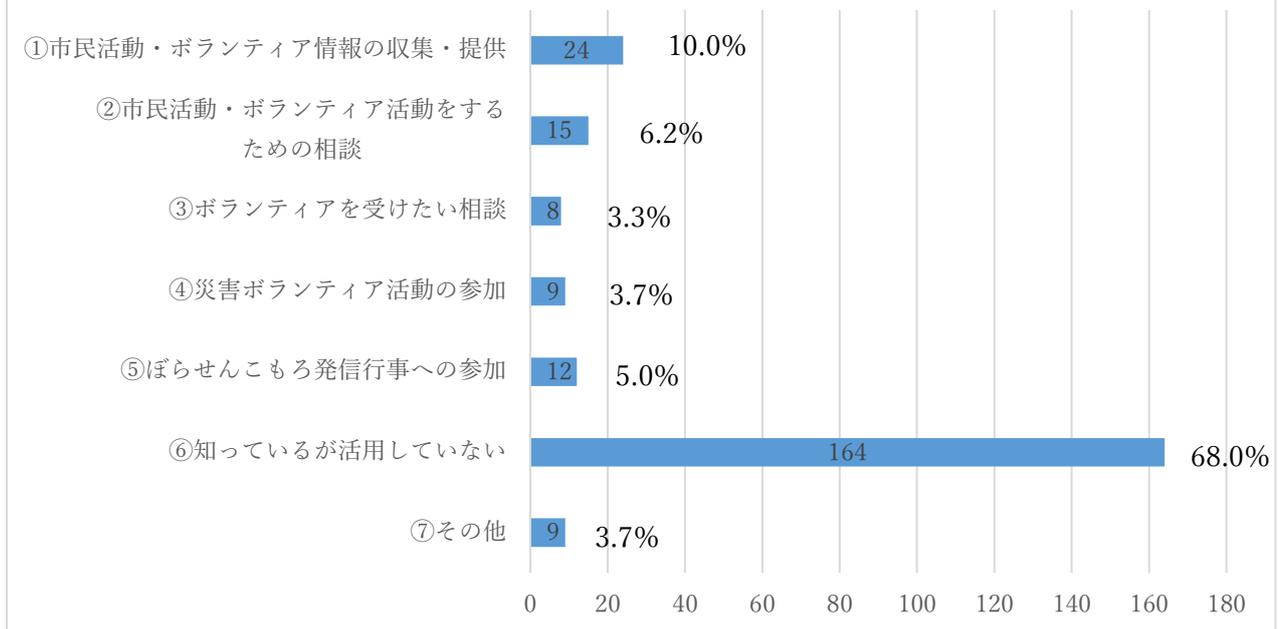
## 問7 ぼらせんこもろの認知度



問8 問7で①と回答した方におたずねします。「ぼらせんこもろ」をどのように活用していますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

問8は問7で「ぼらせんこもろ」を知っていると答えた方（37.1%）へ活用内容について問いました。「知っているが活用していない」が最も多く、回答者の中には活動が出来ない方も含まれた結果となっています。

## 問8 ぼらせんこもろの活用状況



### ◎その他意見

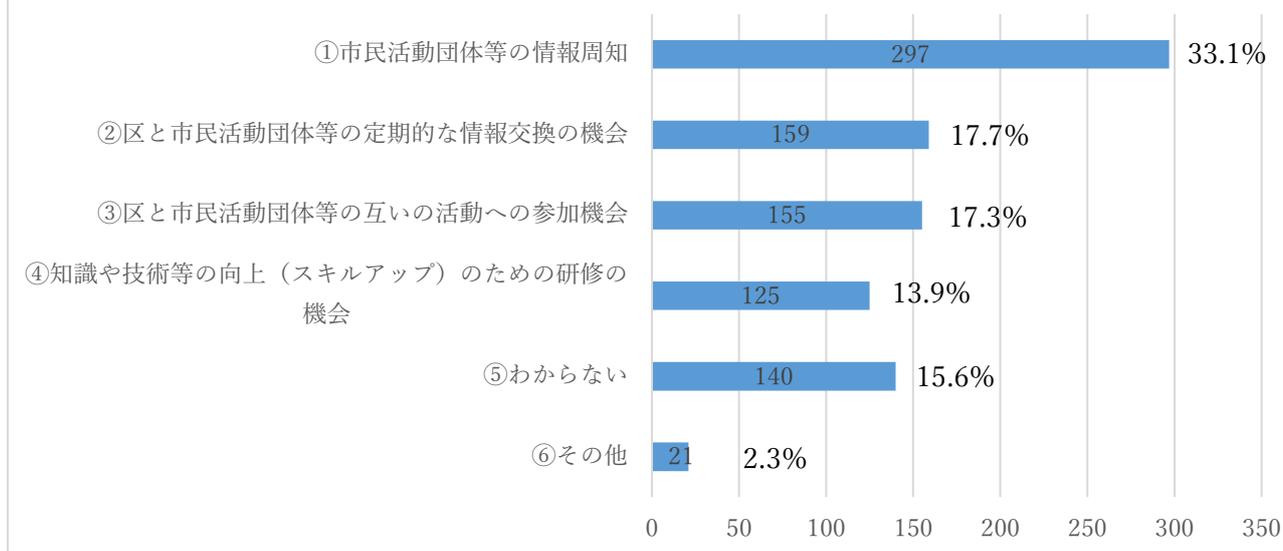
- ・古切手、品物等の持ち込み。
- ・ベルマークや毛糸の提供
- ・ぼらせんに関係なくボランティアをしている。
- ・済切手、キャップを持っていった。
- ・小諸市のボランティア精神のレベルが低すぎて活動しにくい。
- ・良く分かっていない。
- ・活動するために依頼することがある。機器の使用

問9 地域の課題解決に向け、「区」と「NPOやボランティア等の市民活動団体」との連携したまちづくりを推進するためには何が必要だと思いますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

問9は区と市民活動団体等が協力するために必要な方法について問いました。

市民活動団体等の情報周知、定期的な情報交換、互いの活動への参加の回答が6割強との結果から市民活動団体を知る為の機会づくりが求められていることが伺えます。

## 問9 連携したまちづくりの推進方法



### ◎その他意見

- ・マッチング
- ・ボランティア活動の情報発信の仕方（ツイッターなど）。
- ・区と市民活動団体をつなぐ役割を担う者。
- ・高齢者が多い地域へ若者が住めるような環境を提供。
- ・組織があっても理解していなければ活用できない。
- ・まずは、市民1人1人が地域にどのような課題があるのかを知る必要がある。（私自身良く分かっていない）。
- ・ボランティアはあくまでボランティアであり、長く続けてもらえる様に負担をかけない謙虚さをもって欲しい。
- ・NPO, ボランティア側が自主的に主体で行うべき。区側は何もしないで受け身で良い（助けて欲しいければ別ですが）関係者の数が増えても大変になる。
- ・男性中心の区の運営で昔からの風習等、多々問題点がある。（明朗な会計処理、報告なし等）男女同数の意見集約のできる区や活動団体にすることが重要だと思う。
- ・NPO やボランティア団体は自己満足で？本当に一般市民を巻き込んだ活動をしているか疑問。
- ・市民活動をしていた頃、良い思い出がない。ボランティアの真の意味に疑問
- ・ボランティアに頼るのではなく、きちんと報酬を支払い、業務として委託すること。
- ・きちんとした予算配分、お金
- ・市の柔軟性と関与の薄さ⇒協働の阻害
- ・公務員のボランティア強制参加
- ・強制参加
- ・上記の取り組みはHPやSNSを活用してほしい。
- ・なぜ連携して推進する必要があるのか不明。

・どれも重要。皆さんの意見を尊重して、市等が仲介して1つ1つ積重ねる必要があると思います。小諸に残る若い人の意見を大切に！

問 10 今後の小諸市における市民参加、小諸市自治基本条例の内容など、まちづくりを進めるうえで、ご意見があれば記入をお願いいたします。(自由意見)

#### ●主な意見

- ・気軽に参加出来る事があるかとか分からないので、周知してもらいたい。
- ・どうすればまちづくりに協力できるかわからない。私にはアンケートの質問が難しかった。
- ・条例に認められるように、国からの施策によって押し付けられたもの（他の諸計画も含め）の実行性のなさの解消が可能なのか
- ・何事も計算せずに誠実な心が必要。皆、頭が良すぎて計算高いのはイヤです。
- ・仕事柄、平日しか休みがないので、平日の（特に若い方向け）イベントもして欲しい。ボランティア活動など協力したくても出来ない。地区内の活動も会議も、土、日、祝が多く、さぼってる風に見えるんじゃないかと不安。
- ・ぼらせんこもろをもっと周知していてもらえるように努めて行って欲しい。
- ・市民が気軽に参加できる様になるといいですね。
- ・どんなボランティアをやっているのか知らないのでもっと知れるようにしていただけると、みんなが関心を持つと思います。
- ・子どもでも子ども連れでも年配者でも楽しんで参加しているうちに自然とボランティアになっているような活動を工夫する。
- ・少子化の時代ですので、子ども達を育てる為の環境作りを中心に行ってもらえればと思います。
- ・インターネットを利用して意見を簡単に言える場があると身近に感じる。若い世代の考えや意見を言いやすい場所があれば有り難いです。
- ・同封されていた小諸市自治基本条例などの文章をレイアウトやフォントの種、大きさを読みやすく、読みたいと思わせるよう工夫されてはいかがでしょう？読んで欲しいのか？と勝手に思います。
- ・SNSの活用はされているが、内容が分かりにくい事があると感じます。年代別で見にいける等されると分かりやすいかと思います。
- ・自治会の活動がまちづくりに繋がっていることを知らなかったのでも、その点説明があると良いと思います。また、今回同封された小諸市自治基本条例は条例文のままだったこともあり分かりにくかった為、マンガや動画などわかりやすくまとめたものが欲しいです。
- ・まず、区が積極的に取り組むこと。市に頼りすぎ。
- ・市の取組んでいる会報等が自宅に届くこともなければ投票（無投票）に関する情報も届くことがなく。こちらから情報を取りに行かないと何も得られない環境です。
- ・市民参加に関して市民の意識向上は大変難しい課題かと思います。
- ・市民参加というと聞こえは良いですが、参加する人はいつでも参加する（参加させられる）しない人は常にしない、そんな状況にも不満があります。

・一部の方がやってる感が有ります。もと、一般市民に広く情報を伝え参加してもらえない様にしないと、しょせん他人事となる。

・このような条例がある事を知りませんでした。ここ数年、保育園の新設や給食委託業務、学校統合等市民が参加できる場があったことは知っています。とても良い取組だと思います。今後とも情報発信していただき、機会があれば参加していきたいと思います。市民の意見を聞いて更に良い街づくりをして頂きたいと思います。又、未来を担う子ども達にこそ、このような取り組みをしていることを発信して欲しいです。

・区内の役員等について、高齢化となり、役員が出来る人が少なくなり負担が多くなってきています。

・会社勤務など、仕事をしていれば、それだけで日常はいっぱい。市政に参加するのはよほど関心があって、エネルギー・時間のある人でないと思う。正直、市役所の方（プロ）に任せてそっとしておいてほしい。

・誰でも分かる様に！難しい言葉ではなく、誰でも理解できるように例を上げる又は、分かりやすい言葉で伝えて欲しい。

・小諸も外国人が増えて言葉で困っている人が多いようです。通訳、その他、対応できる人財を増やしてあげて下さい。

・「NPO」「ボランティア」もう名前がとっつきずらいしウサンくさい。そもそも活動内容がきちんとわかってからがスタート。お金がありそうなオバサンの写真がある時点でアウト。

・コロナの為、集まりが出来なくて小諸がよくなってもらいたい。

・「地球人祭り」の復活はできないだろうか。過去、中断された経緯を検討し負担にならないように。

・給与はほとんど上がらず、国も信用できない状態で、ボランティアなんてやっている余裕はない。

高い給与をもらって安定している公務員に率先してやってもらい広報するべき。

・必要か必要で無いかは、もっと全市民に耳を傾けるべきだと思う。(全市民にアンケートを配るなど)必要でないなら廃止した方がいいと思う(条例自体)

・興味とか年齢の関係もあるのではないのでしょうか？家の環でもちがうのでは？

・親子で参加できるものがあると次世代に繋がって行くと思います。

・若年層の参加している様子があまり感じられない。そのため活動に関わりにくい。また、自分自身県外（東京）から転居してきたので、よそ者視点で気付くこともあるが、どこでどんな人たちに伝えたらいいかが分からない。もっと分かりやすくオープンにSNSなども 利用して発信して欲しい。

・防災放送、まったく聞こえません。(防災ラジオも故障して使えなくなってしまう。)

・先日、市民参加型の意見交換会のようなものに参加しました。子育て世代の参加が少なすぎます。もっとLINEやインターネット等で声をかけて欲しい。

・市外、県外からでも移住して来たい魅力あるまちづくりを展開していただきたいと思います。

・若い世代が意見を言いやすいように環境を整えて欲しい

・市民参加に関する情報が一切ないから何も出来ない

・ぼらせんこもろについて、以前に敬老の日だと思いますが、皆さんに配る包袋を作るお手伝いをしたことがあるくらいです。詳しい活動を知らずにすみません。

・かつては色々市民参加等してきましたが、ここ数年ずっと、参加出来ておらず申し訳ありません。積極的に参加する事は苦手ではありますが、なるべく頑張ろうと思います。

- ・小諸市自治基本条例を知らなかったのので、今回のアンケートで知ることができました。
- ・市が活動している内容が市民は知らないことが多いと思います。市の活動を情報発信して下さい。
- ・区民の高齢化で役員のなり手が無い。
- ・新型コロナで区の行事、会議が出来ていない。人と人とのつながりがうすれて来ている。
- ・(ハヤリをつくる) 高校生のアイデアをどんどん採用。
- ・SNSなどでも良いが、気軽に意見、要望が言える場があれば良いなあと感じた。そしてそれらには一つずつ分かりやすく回答して行って欲しい。
- ・小諸市のまちタネ広場もとても良いです。あとは相生町や本町の空き店舗も少しずつお店もできています。松本や上田の様なイベントも沢山して欲しいです。
- ・小諸市自治基本条例は周知する機会を持つべきだと思います。まちづくり具体的なルールが明文化されているので。
- ・①区長会で、ある程度時間をかけて説明する。②各戸配布(関心のある方は、目を通すと思うが、配布内容は十分な検討が必要だと思います。
- ・不登校、ひきこもり、ヤングケアラー、自殺など青少年をとりまく環境社会のあり方がおかしくなっているのかなと感じています。ぜひ、地域の中に学校、教育委員会、福祉の横のつながりを強くして、ネットワーク作りをし、どんな子も幸せにいらしていかれるようになってほしいです。
- ・若者達が知る機会がない。
- ・若者に参加してもらうことを目指すのであれば、ツイッターやインスタ等のSNSを利用し興味を持ってもらったり、参加側にもメリットがあることをアピールすると良いかもしれない。企画・管理は若者に任せあまり制限しない。
- ・ボランティア活動に一度だけ参加しましたが、とても勉強になりました。とても良い事だと思いました。
- ・高齢化していく問題がある。定年して家にいる人で地域に参加しない人がいる。➤もっと参加してほしい。
- ・いろいろな面での情報を提供する事が大切。
- ・小諸市も超高齢化都市です。区域でも(コロナ禍でもあり)疎遠になってしまっています。独居や老夫婦の家庭も多く、不安を抱える人も多いと思います。まちづくりを進める上で無視出来ない事実と思っています。
- ・小諸市が発展してゆけるよう市民も努力してゆくことが大切だと思います。お互いの違いを認めて意識を変えてゆく努力が必要かもしれません。
- ・インスタなどの利用はどうか? 基本条件は大人が読んでもむずかしいので、子ども用に簡単な言葉で書いたやつを小学校に配ってお家で家族で見るとかどうですか? 「まちで使ったお金はまちの人にどう使ったかみせます。」「どうろはなおします。まちをきれいにします。まちのルールをみんなで考えてチェックするよ」等
- ・そもそも市民活動団体を知りません。いつ、どこで、どのような活動をなさっている団体なのか。まずはその「市民活動団体」に対して情報開示を求めます。
- ・若い世代との交流する機会などがあればいいと思う。今多くは市民活動団体等は年齢が高いのではないかな(?) 例えば、区の行事などで子どもではなく40代~50代の働き盛りの人達など。(地区に

よって違いはあると思うが) 高齢者=活動できない(働けない)・・・疎外感

・問9でも書きましたが、男性中心の市政だと痛感します。女性の意見がしっかり反映される市政になることが必要だと感じます。

・高齢化が進むなかで、区などの小さい単位での活動を定期的に行い助け合う気持ちをもてるようにして行ってほしい。

・小諸市自治基本条例が制定されていることは知っていましたが、今回のアンケート(別紙)の条文を読むまでは内容も知りませんでした。自治の精神をまちづくりに反映させるためこの条例がもっと身近なものに感じられるような工夫が必要だと思います。(分かりやすくイラストを用いたパンフレットの作成、配布等)

・もっとどういう活動があるのか発信してほしい!

・小諸市は町中だけでなく皆さんがちらばって住んでいるので活性化するにはその方々の足が重要になる。特に町中以外に住んでいる方々へのアプローチ(例えばバスなどは、どこで手をあげても乗れる、お金はかからない)が必要と思います。

・情報周知や情報交換、参加の機会等がHPやSNSの活用により取り組みの「見える化」が促進されることを期待します

・定期的に条例を見直して履歴を残してよいものにしてほしい。あるいは、既にやっているのなら、わかる様にしてほしい。

・特に高齢者が働く形でまちづくりに参加できればと考える。(高齢者が元気なほど、明るい地域と感  
じるため)